

2021

同友しずおか

1

VOL.506

正月

私の逸品

(有)マイアミライフ

こだわりのつまった
天然虎ふぐコースと
季節料理



静岡県中小企業家同友会



代表理事 井上 育

(ワシロック工業㈱ 代表取締役)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃、同友会運動にご尽力いただいておりますことに先ずは感謝申し上げます。

昨年1月から拡がりをみせた新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や緊急事態宣言が発動されるなど、人々の行動が大きく制限され、企業経営にも甚大な影響を及ぼしています。そのような状況下にあっても静岡同友会では『コロナに負けない。』突破のヒントは同友会にあり』を合言葉にオンラインを活用した学びの場を展開してきました。昨年11月には「第34回全県経営フォーラム」をオンラインで開催し、150名を超える参加者が集いました。基調講演では吉田敬一先生（駒澤大学名誉教授／中同協企業環境研究センター顧問）から、コロナによる中小企業への影響とコロナ禍を切り拓く中小企業のあり方をお話しいただき、続いて静岡同友会の次期5年ビジョン策定に向けた分科会を開き、次年度発表の2025年ビジョンの検討も含む議論が交わされました。日々刻々と変化する社会・経済環境の中で、目指すべき企業・地域・同友会の在り方を問い続け、不透明な時代だからこそ、未来を見据え、ビジョンの実現にむけ会員一丸となり取り組んでいきましょう。

私たち中小企業を取り巻く環境は、2019年10月の消費増税による経済の冷え込みに続き、今回のコロナショックによる大幅な国内景気の減速によって、厳しい局面に立たされています。経営指針を実践し、会員同士が切磋琢磨する活動の中から、同友会理念のひとつ「地域と共に歩む中小企業」をめざし運動を推進しましょう。幾多の危機を乗り越えてきた会員一人ひとりの経営実践に多くのヒントがあります。今こそ同友会の仲間と共にコロナ禍を乗り越え、皆様が益々活躍されることを祈念申し上げます。



会長 遠藤 一秀

(遠藤科学㈱ 代表取締役)

明けましておめでとうございます。

私は、社長になって23年、つまり23回目の新年を迎えました。これまで毎年毎年、数多くの「年頭所感」を書いてきました。しかし今年は、テーマが決まりません。新年に当たり、心新たに希望を述べようか？ 改めて自重自戒の意を決しようか？ それとも年配者らしく泰然自若たる不動の姿勢を示そうか？ 色々と考えを巡らせてもテーマが見つかりません。本年がどのような年になるのか、全く見通せないからです。

昨年の初め、新型コロナウイルスは遠い国の出来事でした。欧州で感染が拡大しても、まだ対岸の火事でした。景気は既に下降ぎみでしたが、GDPが戦後最悪の落込みを記録することなど予想できませんでした。新型コロナ感染拡大の第一波を凌いだ6月になると、多くが「もう感染は峠をこえた、経済も徐々に回復する」と考えました。誰も第二波が来襲し、更に強烈な第三波の真っ只中で新年を迎えようとは想像できませんでした。

先にも述べたように、この年がどのような年になるのか残念ながら不明です。新型コロナやオリンピック開催、景気回復について、どうなっていくのか私には全く分かりません。しかし、思い起こせば、平成バブル崩壊も、リーマンショックも、東日本大震災も、あの原発事故も突然発生しました。我々はこれらを何とか乗り越えてきました。どんな事態が起きても、状況をよく分析し、対応策を着実に実行すれば、新たな道は開けます。先行き不透明な時代ですが、皆さんで前向きな展望をもって前進していきましょう。



こだわりのつまった 天然虎ふぐコースと 季節料理

(有)マイアミライフ (静岡支部)
増田 奈津子氏



増田 奈津子氏 (左)、増田祐一氏 (右)

誰を連れて行っても自慢できる
大人の隠れ家

静岡駅の近く、両替町通りを少し奥に入ったところ、ひっそり佇む赤いれんが目印の「料理 樹(たつき)」を訪問。このお店を営む増田奈津子氏にお話を伺いました。のれんをくぐり明かりが灯る小道を進むと、落ち着いた趣のある店内。内装からこだわりあふれるお店づくりに感嘆しました。増田氏は、2002年9月に「樹ダイニング」をオープン、2004年に法人化し、現在地に移転してから



店内の様子



テイクアウトの鰻弁当

らは「料理 樹」として営業しています。取材に先だって広報委員で利用した際には旬の素材を活かした和食料理とお酒に舌鼓を打ちました。主に調理は増田氏のご主人である増田祐一さんが担当し、増田氏は接客や経理を担当しています。経営者や士業の常連客が多い「大人の隠れ家」的存在であり、コロナ禍でも毎日営業を行っています。またテイクアウトでできるお弁当も取り扱っており、好評を得ているそうです。

同友会への入会で一人で悩むことから脱却

同友会との出会いは顧客でもあった三木清夫氏(株ミキ・静岡支部)の紹介です。当時3店舗を営んでいた増田氏は、板前不足で1店舗休業状態になっていたことに一人悩んでいました。同友会に入会したことで、同じ経営者の仲間に出会うことができ、悩みを話し、時にはアドバイスをもらうようにもなり、精神的にずいぶん楽になったといえます。また支部の委員会主催の決算書を読む勉強会にも参加し、決算書への理解も深まったそうです。また、例会でのグループ長や発表者としての経験

を通して、自身のプレゼン能力の低さを痛感し「今後は人をまとめる力、人に伝える力をつけたい」と話しました。

私の逸品 天然虎ふぐコース

そんな同店の私の逸品は、「天然虎ふぐコース」です。こちらのコース料理では天然の虎ふぐを使用しています。プロの目で本当に良い食材だけを仕入れており、天然のふぐは2〜3日熟成させてから調理します。この熟成期間の見極めが美味しさを左右すること。噛めば噛むほど深くなる味わいと絶妙な歯ごたえを楽しむことができます。他の料理で使われる魚は、吉田、大井川沖で水揚げされたものをメインに使用しており、板前自らが朝一番に市場で目利きした新鮮な魚は絶品です。



こだわりの旬の食材を使った季節料理

同店の料理のこだわりは旬の食材を使った一品料理。顧客の要望にも応えながら、様々な料理を提供しています。大皿でなく個々に提供されるのも、このコロナ禍ではうれしいサービスです。増田氏は「経営者として余裕ができてきたら、もう少し地域・社会とのつながりも増やし、食への興味や、季節感を感じた食事をするこの大切さを広めていきたい」と展望を語りました。

取材・記事：藤本浩氏

取材：フリントバリエー(株)・静岡支部

取材：鈴木弘之氏

(税理士法人 あい会計・中遠支部)

(有)マイアミライフ

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町13-6 「料理 樹」

TEL : 054-273-1121

URL : <https://tatsuki-shizuoka.owst.jp/>

設立 2001年

社員数 正社員6名、パート10名

入会年月 2019年8月

事業内容 飲食業

会員訪問記

世界一の健康な水の探求と開発を考える企業

(株)ウェッジ

代表取締役 西村 知浩氏 (富士支部)



西村 知浩氏

富士市で健康食品用素材や飲料水還元素材製品の開発・製造・販売を行っている(株)ウェッジの西村氏を訪問しました。

好きなことで人を幸せにしたい

研究職として財団に勤務したのちに1級建築士の資格を活かした西村氏。仕事で何度も人に騙され人間不信に陥ったときに自分の幸せとは何かを真剣に考え「自分の好きな『研究』を仕事にし、人々を幸せにすることが自分の幸せである」との考えにたどりつきます。そして2009年に基礎となる開発者と出会い、2012年に現在の事業をスタートしたそうです。

健康に導く「水」の研究開発

西村氏が着目したのは人間にとつて最も身近ですべての生命の源となる「水」でした。人間の身体の上を構成する水は酸素や栄養分を細胞の隅々まで届け、老廃物を排泄する重要な役目を担っています。「体内の水分を適



アルカリイオン還元水「ウェッジ・イオンセラミック」

切な状態で維持できることが健康への近道」と西村氏は考え、人々の健康を促す水をつくる原料の研究に努めました。そして免疫力を高め、病気に強い体づくりをサポートするアルカリイオン還元水などの製品を開発・販売しています。

小さくても世界に通じるブランド力

西村氏は「自身の得意分野であり他社があまり挑戦していない『研究』を極めることでブランド力を高め、小さくても日本・世界に通用する会社になりたい」と様々なことに挑戦してきました。営業をしなくてもお客様に求められるお客様と対等な関係を築ける会社にしたという想いもあったそうです。そして自社のブランドを確立するために大学と共同研究を行いました。最初は大学になかなか取り合ってもらえなかったそうですが、東日本大震災の際に自社で研究開発した原料の放射性物質吸着効果が認められ、連携が進んだそうです。2011年より千葉大学医学部と共同研究を続けた結果、電子もミネラルも豊富で体に最適な水を創り出す「ライフセラミックパウダー」を開発。これについての論文は日本・中国・EUの学会誌に掲載されました。現在は論文を見て欧米やアジアから自社まで話を聞きに足を運ぶ人もいるほどだそうです。

同友会で学んだ「人間尊重」

同友会に参加する中で人間尊重の経営や社員と経営者は対等な関係にあるということ学んだ西村

氏。もともと人は対等であるべきという考え方が自身の中にあつたため、同友会の考え方にとても共感したそうです。「社員、取引先、お客様、地域、その他ステークホルダーの笑顔を望み、それを実現するために企業があると考えている」と話してくれました。

研究の分野でも自分も笑顔で幸せになれる唯一無二の企業を目指し、人間尊重の精神を常に持ち続ける西村氏に触れ、熱意あふれる天才ここにありと感じた取材でした。

取材・記事：山田冬人氏
(株)エンジニアメント・富士支部
取材：渡邊正仁氏
(有丸之工務店・富士支部)



左から山田氏、西村氏、渡邊氏

(株)ウェッジ

〒417-0055 富士市永田町1-61

TEL：0545-55-5022

URL：http://www.wed.co.jp/

設立 2012年

社員数 3名

入会年月 1998年3月

事業内容 健康食品原料製造販売

会員訪問記

命をつなぎ・全ての人が生まれてきて
よかったと思える社会づくりへ向かって

特定非営利活動法人 母力向上委員会
代表理事 塩川 祐子氏（富士宮支部）



塩川 祐子氏

母力向上委員会は、塩川祐子氏が母親への支援活動をしてきたと2008年に立ち上げた組織です。自身が看護師の仕事、結婚妊娠、出産、子育てを経験し、母親の持つ様々な課題やストレスについて考えるようになったことが立ち上げのきっかけであり、活動の拡大とともに、2016年に任意団体からNPO法人に法人化しました。

全ての人が生まれてきてよかったと思える社会にむけた支援の循環の輪づくり、子育てに悩む人たちの受け入れる場所づくりが活動の基盤です。新たに富士宮市と協働して行っている「ベビーステーション」事業では、「ハード（モノ）」とソフト（こころ）の両方から子育てをサポートできる市内の事業所やコンビニ、公共施設と提携しています。また、4年前から他団体と連携して女性の起業支援活動も行い、毎年数人の創業者が誕生しています。

※詳しい活動についてはホームページをご覧ください。



サポートの拠点となる事務所「さぁどぶれいすSAN」

経営を学ぶために同友会入会

NPO法人は非営利目的とはいえ歴然とした法人であり、給与や諸経費の支払いは発生します。スタッフからの要望に応えることも大切です。活動がたつらくなり「しつかりしろ、私。経営をちゃんと学ばなければ」と思っていた時に富士宮支部会員の紹介で同友会に入会。「本当に、本音で、赤裸々に経営者が語りあっている！」と驚いたそうです。何より塩川氏にとって大きかったのは、一般企業は利益が至上目的だろうと思っていた自身の視点が180度変わったことでした。「経営者が人として悩み、よい会社づくりのために、仕事の創造や確保・社員の育成・地域貢献をしながら日々成長している過程に触れて、本当に学びとなっている」と語ります。

未来の新しい社会づくりに向けて

「地域密着だからこそ出来る」とがまだまだ沢山あるという塩川氏。昨今はコロナ禍で大きく動けない分、この時間を逆に有効に使い新たな事業の研究開発に取り組んでいます。名前に「母力」と入っているものの、近年は男性や父親への支援についての事業も検討しているそうです。

情熱的に、アグレッシブに活動する塩川氏は「全ての人が生まれてきてよかったと思え、自分の価値を実感できるようにしてほしい」と、ことあるごとに語ります。「自身の心が折れた時に恩人や仲間たちのあたたかい言葉に救われたように、今度は母力の仲間たち

と『母力と出会えてよかった』と思ってもらえる活動で恩を未来につないでいきたい。そして、母親も父親も、課題、障害、病気など様々な悩みを乗り越えられる、命をつないでいく活動を行ってきたい」と眼力強く、未来を見据えます。

「全ての人が生まれてきてよかったと思える社会をつくる」、大きすぎるテーマかもしれませんが、そこに向けて歩みを始めなければ、叶わない。仲間を大切に、母力向上委員会は、未来のビジョンに向けて一歩一歩、歩んでいます。

取材・記事：田邊 元裕氏
（南カボスメディアワークス・富士宮支部）

特定非営利活動法人 母力向上委員会

〒418-0039 富士宮市野中1136-5
TEL：0544-78-0741
URL：http://haharyoku.com/

創立 2008年

社員数 6名

入会年月 2017年10月

事業内容 富士宮市及び富士市において安心して妊娠・出産・子育てができるための講座、イベント開催、情報発信、母子保健、家庭教育、男女共同参画に関する事業、子育て支援に関する環境デザイン事業 等

第9講 12月2日(水)

一隅を照らしながら、グローバル・ニッチ・トップを目指して

講師：梶川 久美子氏

(サツマ電機㈱・沼津支部)



梶川 久美子氏

沼津市で産業用ブレーキの専門工場として設計開発・製造・販売をおこなうサツマ電機㈱。高品質の製品を通じて「ブレーキは止まるもの」という当たり前を実現することを使命とし、取引先は海外にまで広がっています。また、設計から販売までの全工程を一貫しておこなうことができる強みを生かし、ブレーキ講習会を実施するなどブランド力強化にも力を入れています。

梶川氏が家業を継いだきっかけは、東日本大震災の被災地ボランティアに参加した際、現地の人に言われた「自分の身の回りの方を幸せにしてください」という言葉でした。自身の経験を踏まえ「社会では①前に踏み出す力②考え抜く力③チームで働く力が求められる。一流の会社に入るために勉強するのはなく、人の役に立つために勉強することが大切」とメッセージを送りました。

第10講 12月9日(水)

中小企業経営と税理士の役割

講師：鈴木 弘之氏

(税理士法人あい会計・中遠支部)



鈴木 弘之氏

磐田市で税理士法人の代表を務める鈴木氏。税理士と公認会計士の違いや税理士の役割、日常業務に加え、中小企業が抱える課題を学生に伝えました。

鈴木氏は減少が続く中小企業の現状について、経営不振や人手不足、経営者の高齢化などの要素が大きな原因となっていることを「データに基づいて解説。国内の雇用や地域経済を支える中小企業の存在意義を守るためにも、専門知識で税理に関する独占業務を扱う税理士の顧客への責任が大きいといえます。」「中小企業経営者の頼れる存在として、力になれることは多い」と想いを熱くする鈴木氏。

これまで9名の会員経営者の講義を受けた学生からは、今までと異なる視点で中小企業を知ることができた感想があり、税理士のやりがいと中小企業の実態を伝える講義となりました。

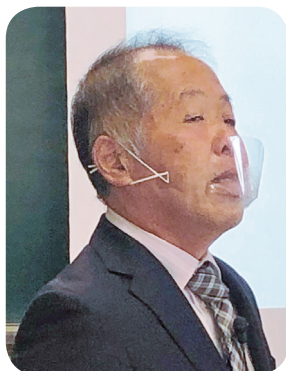
第11講 12月16日(水)

自社のこと

「人を生かす経営を目指して」

講師：池原 智彦氏

(有)池原商会・志太支部)



池原 智彦氏

島田市で廃棄物処理業を営む池原氏。ものづくりと音楽に没頭した学生時代、その後建設機械の会社での勤務を経て、父の経営する(有)池原商会に入社します。廃棄物処理業をはじめとして、各種リサイクルや不用品回収、遺品整理なども行っています。今後は、様々な事情によりゴミを回収場所まで運ぶことができない人の自宅前まで伺い、回収業務を行う「まごのて」事業にも力を入れていきたいと話しました。

同社の社員数は11名、うち3名が障がい者です。学生時代にはじめて手話教室が障がい者雇用に入力するきっかけになったそうです。池原氏は障がい者雇用を通じて「少しずつでも積み重ねていくこと、やる前に無理だと決めつけずにチャレンジすることが大切だと学んだ」と社員の成長を思い浮かべながら、学生にメッセージを送りました。



コロナに負けない経営者の実践、YouTubeで学びませんか？

- 第11回 越膳 徹氏 (有)イーリード・沼津支部)
- 第12回 今野 英明氏 (光誠工業㈱・榛南支部)
- 第13回 立道 浩幸氏 (㈱蒼設計・御殿場支部)
- 第14回 村松 繁氏 (アイマーク㈱・志太支部)
- 第15回 高木 基氏 (パリュー・トーカイ㈱・三島支部)

現在第15回まで公開中！今後の配信を見逃さないため、ぜひチャンネル登録をお願いします！



◆県内全支部で

ZOOM併用例会を開催

図友会への目的

- 1. 図友会を知ること
- 2. 図友会を知ること
- 3. 図友会を知ること
- 4. 図友会を知ること
- 5. 図友会を知ること
- 6. 図友会を知ること
- 7. 図友会を知ること
- 8. 図友会を知ること
- 9. 図友会を知ること
- 10. 図友会を知ること

積極的にご参加ください！

他支部の例会案内をチェックする方法をご紹介します。早速見てみましょう！また、E-DOYUの操作方法などご不明な点は同友会事務局までお気軽にお電話ください！

他支部の例会案内をチエツクする方法

静岡同友会E-DOYU

支部例会だけでなく、専門委員会の活動や情報発信もおこなっています！

ログイン ID とパスワードなどご不明な点は静岡同友会事務局へご連絡ください！



静岡同友会公式フェイスブック

週に一回翌週以降の行事案内を発信しています！フオローと「いいね！」よろしくお願いします。



静岡同友会公式ホームページ

会員外部に公開されている行事や広報誌「同友しずおか」のバックナンバー、取材記事を掲載しています！

全国の会員を検
索する機能など
もあります！ぜ
ひご利用くださ
い！



1月・2月

DOYU CALENDAR

1月16日(土)～2月15日(月)

1月 19日(火)	2025ビジョンプロジェクト (17:00 同友会事務局&ZOOM)
20日(水)	伊東例会 (19:00 未定) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM) 静岡・志太合同例会 (19:00 静岡ペガサート&ZOOM)
21日(木)	榛南例会 (19:00 ZOOM) 中遠例会 (19:00 ZOOM)
22日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」(19:00 同友会事務局&ZOOM) 第17期経営指針を創る会 第10講 (19:00 静岡ペガサート&ZOOM(予定))
25日(月)	三島例会 (19:00 ZOOM)
26日(火)	浜松例会 (19:00 アクト研修交流センター&ZOOM)

27日(水)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
29日(金)	静岡財務事務所との意見交換会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
2月 5日(金)	県総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
6日(土) ～7日(日)	第17期経営指針を創る会 第11講(予定) (9:00 未定)
10日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア&ZOOM) 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
12日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店& ZOOM)

《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

★事務局冬期休暇について：12/28(月)～1/3(日)



同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆1月ご入会の新会員のご紹介は「同友しずおか2月号」にて掲載させていただきます。◆